

The background of the slide features a complex network diagram. It consists of numerous nodes of varying sizes and colors (dark blue, light blue, yellow, and grey) connected by thin, light grey lines. Some nodes are highlighted with larger, concentric circles. The overall aesthetic is modern and technological, suggesting a data-driven or networked environment.

Waha! TransformerではじめるDX 業務効率化と経営データ分析

～自動化と分析によるデータマネジメント～

CTCシステムマネジメント株式会社

1

データ経営とは？

2

データ経営実現のプロセスとハードル

3

取り組み事例のご紹介

4

データの力を最大限に引き出す！CTCSのツール連携

A background network diagram consisting of numerous nodes of varying sizes (circles) connected by thin lines. Some nodes are highlighted in light blue, while others are in light gray. The overall structure is a complex web of connections.

1

データ経営とは？

1. データ経営とは？

データ経営とは？

データを資産として捉え、組織全体でデータに基づく意思決定と業績向上を促進する経営アプローチ

実現するには？

データの価値を最大限に引き出すためのプロセスを整備し機能させる

従来の経営

経験や直感に基づいた意思決定

一部の意思決定者による運営



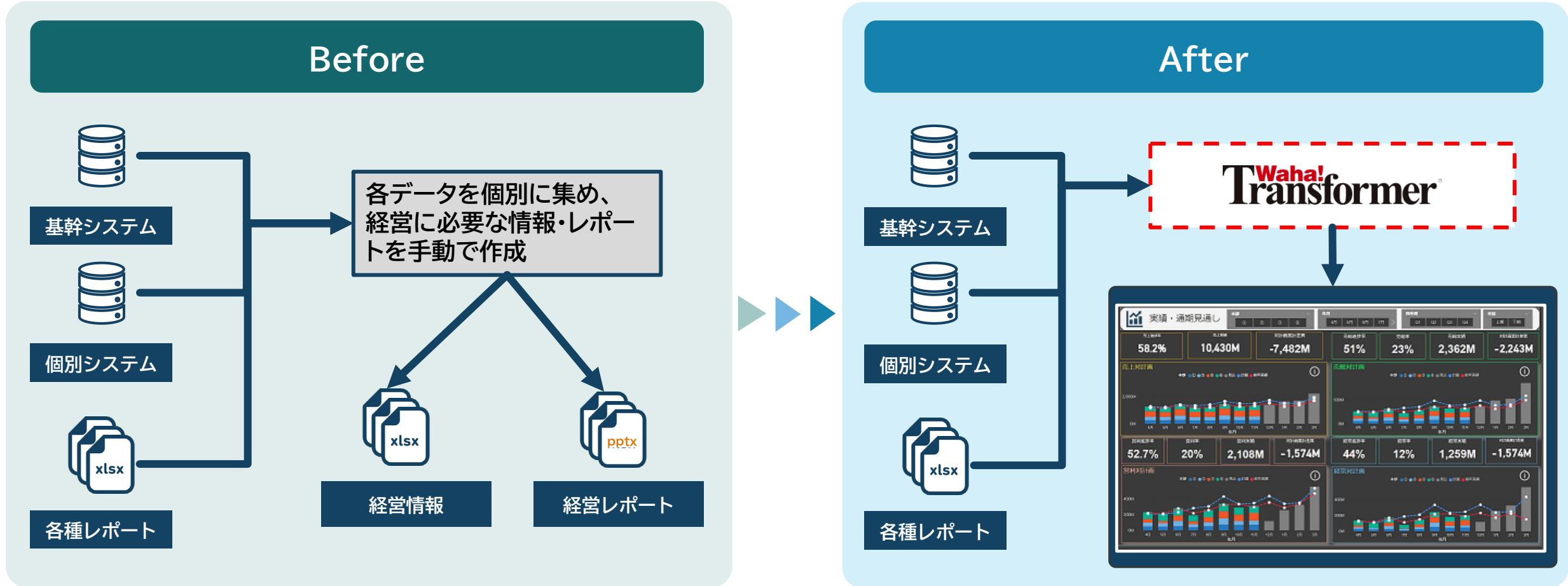
【DXの要】データ経営

データに基づいた意思決定

事実に基づく客観的な運営

1. データ経営とは？

▼データ経営基盤



弊社がデータ経営を実現する為に実施したプロセスとは？



2

データ経営実現のプロセスとハードル

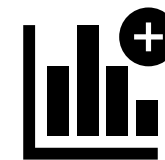
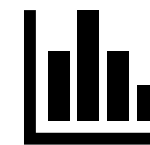
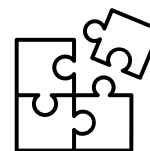
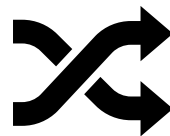
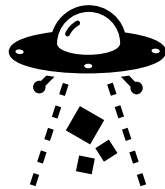
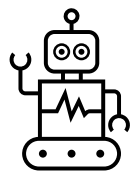
2. データ経営実現のプロセスとハードル

【データ経営の実行プロセス】

①データ収集

②データ変換

③データ活用



デジタル化/自動化

収 集

変 換

集計/統合

可視化

分析/予測

ツール入力の定着化
業務プロセスの改善

データの
精度・信頼性・スピード

データ経営
ビジネスプロセスの改善

継続的な改善

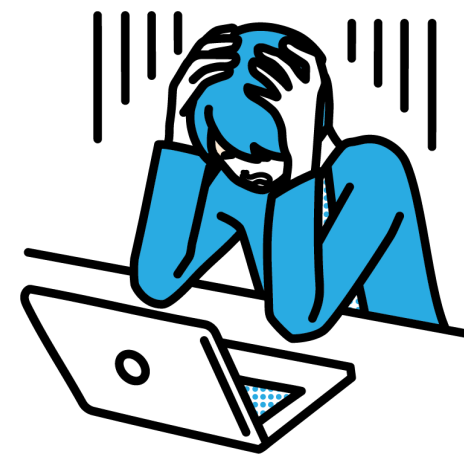
2. データ経営実現のプロセスとハードル



ハードル1

ツールを導入をしてもなかなか定着しない

- 浸透(ツールに慣れるまで)に時間がかかる
- 入力率が伸びない
- 導入直後は入力漏れ、入力ミスが発生しやすい



2. データ経営実現のプロセスとハードル



ハードル2

基幹システムのデータに直接アクセスできない

- 最重要機密情報の為、アクセス制限が厳しい
- 個別システムとデータ連携するためにはコストとセキュリティの担保が必要



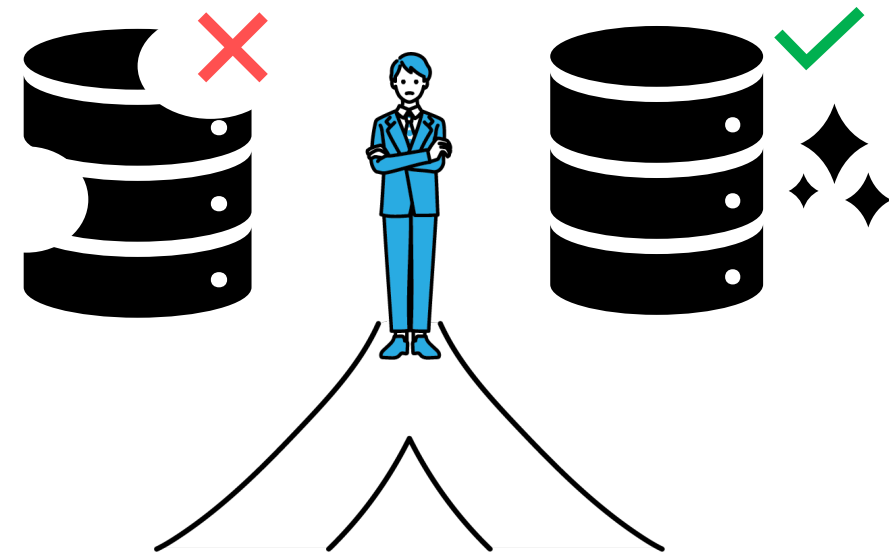
2. データ経営実現のプロセスとハードル



ハードル3

データ価値を保たなくてはならない

- 誤った経営判断・ビジネス戦略を採用してしまうリスク
- データの鮮度と精度:新しい・正しいデータであること
- 更新サイクルがタイムリーであること



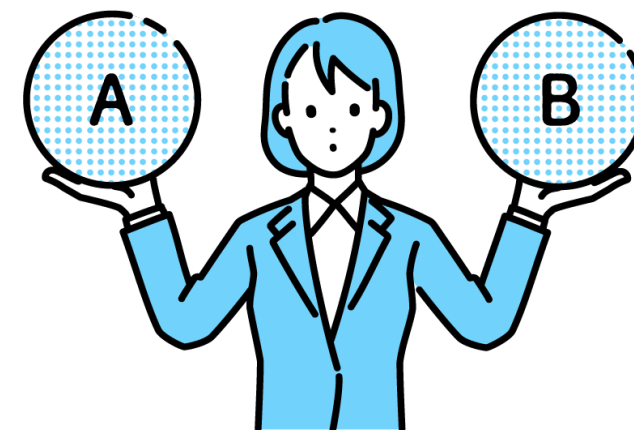
2. データ経営実現のプロセスとハードル



ハードル4

多種多様な形式のデータ統合が発生

- データ変換: 収集したデータのカタチが異なる
- クレンジング複数のデータを統合するための整理整頓



2. データ経営実現のプロセスとハードル

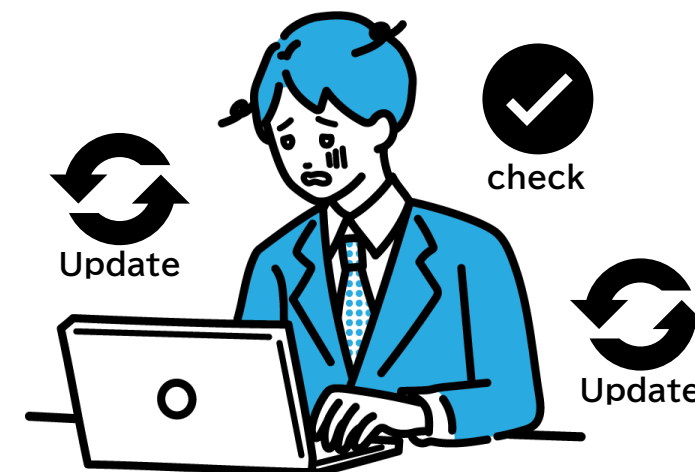


ハードル5



持続的な見直し・改修が必要

- ビジネス環境の変化によって現行の仕組みが腐敗
- データ設計/集計の仕組みを都度 改修する負荷



A background network diagram consisting of a complex web of thin grey lines connecting various circular nodes. The nodes vary in size and color, including light blue, grey, and white. Some nodes are highlighted with larger, semi-transparent circles. The overall layout is abstract and suggests a global or interconnected network.

3

取り組み事例のご紹介

3. 取り組み事例のご紹介: 事例1

■事例1

契約内容のセルフチェックツールの登録状況を モニタリングする仕組みを作りました(Waha+RPA)

■ポイント

- Wahaは、データ加工以外に 業務標準化にも活用できる
- 基幹システムのデータベースに直接アクセスできない部分はRPAで補うことが可能

Before



ポータルサイト開設



操作動画の公開

- ✓ 入力率伸びず…
- ✓ ユーザ自身も登録漏れに気が付きにくい
- ✓ 契約または業務上発生するリスク

After

週次で自動モニタリング



登録状況の集計



未登録リストの通知

- ✓ 早期入力率100%
- ✓ 通知により未登録に気が付ける
- ✓ コンプライアンス遵守を確実化

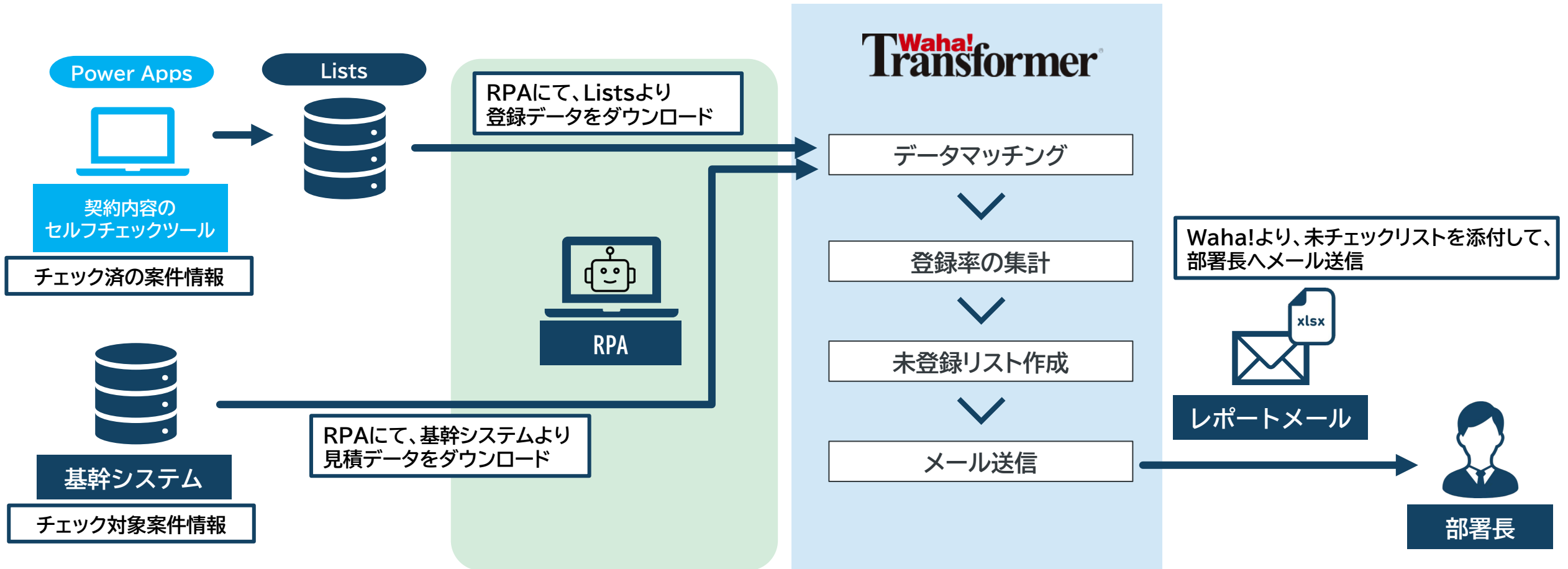
CLEAR!

【ハードル1】 ツールを導入をしてもなかなか定着しない

【ハードル2】 基幹システムのデータに直接アクセスできない

3. 取り組み事例のご紹介: 事例1

「契約内容のセルフチェックツール」の登録状況モニタリング イメージ



3. 取り組み事例のご紹介: 事例2

■事例2

収集データを自動集計し、BIツールで可視化しました（Waha + RPAツール + BIツール）

■ポイント

- Wahaでの集計・統合は、シンプルなシナリオ構成で実現
- BIツールによって表形式⇒動的なダッシュボード形式

Before



表形式



静的

✓ データ洞察を瞬時に読み取りにくい(熟練者向け)

After



データを自動で
統合しBI化



動的

✓ データの洞察を直観的に読み取りできる

CLEAR!

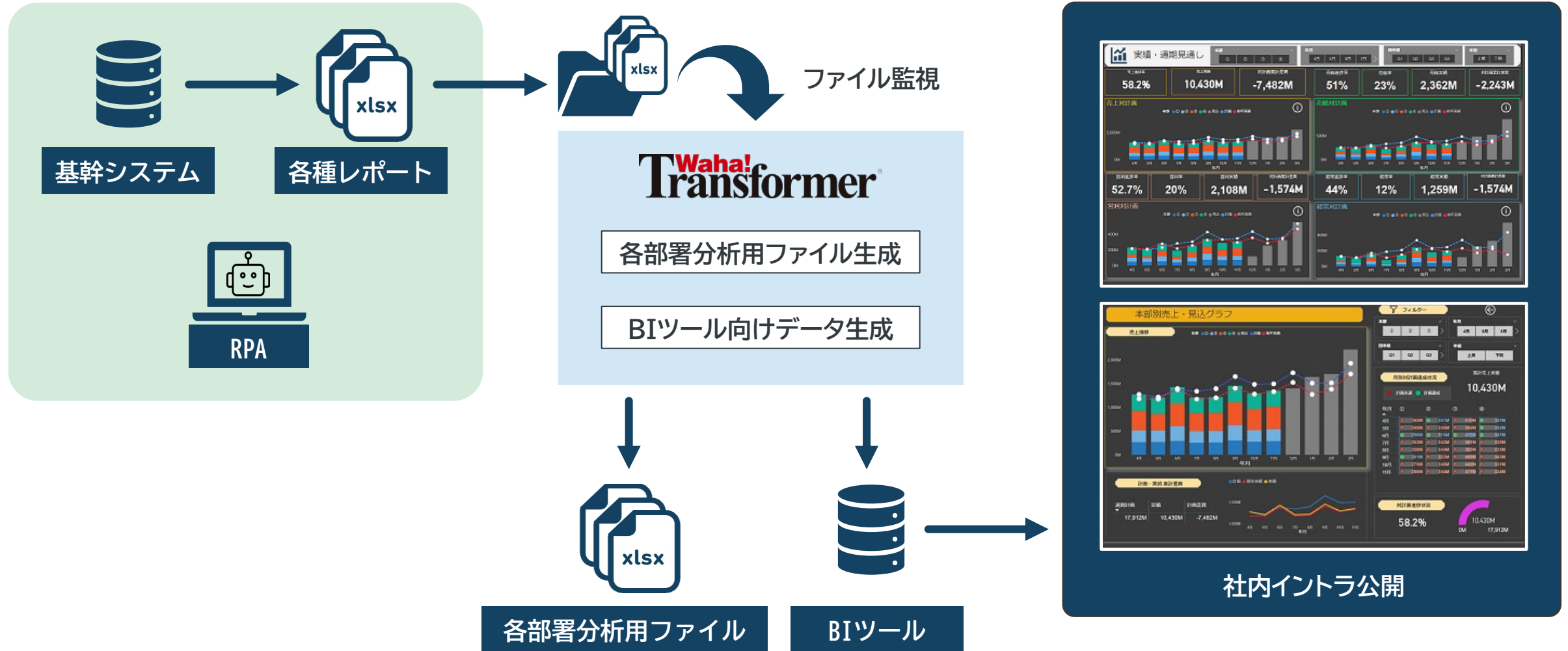
【ハードル2】 基幹システムのデータに直接アクセスできない

【ハードル3】 データ価値を保たなくてはならない

【ハードル4】 多種多様な形式のデータ統合が発生

3. 取り組み事例のご紹介: 事例2

経営分析データ活用イメージ



CLEAR! 【ハードル5】 持続的な見直し・改修が必要

[illegible]

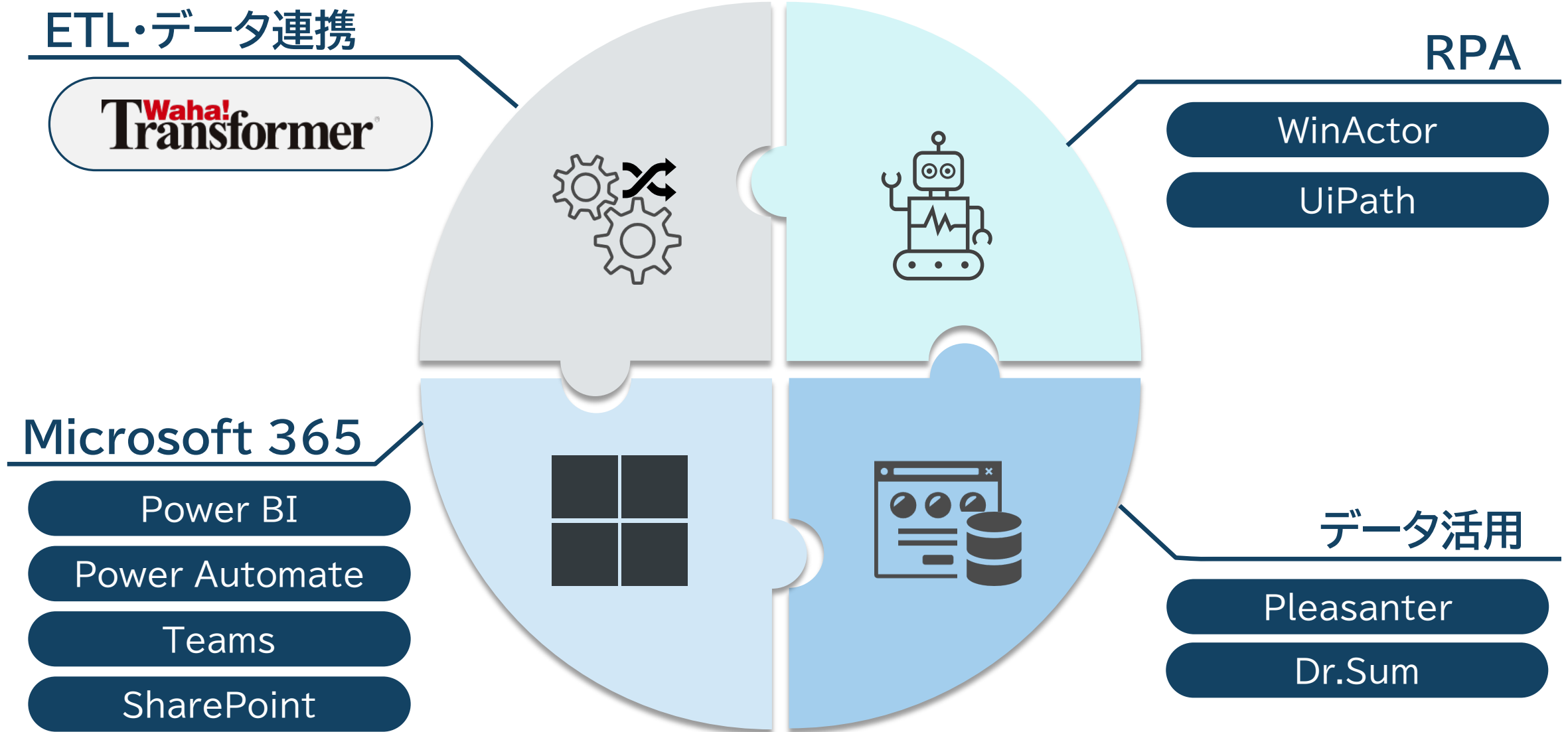
GUIで定義したフローから設計ドキュメントを自動生成。構築履歴や保守資料の作成を省力化して、属人化やブラックボックス化を回避。



4

データの力を最大限に引き出す！ CTCSのツール連携

4. データの力を最大限に引き出す！CTCSのツール連携



4. データの力を最大限に引き出す！CTCSのツール連携

＼ こんなお悩みはありませんか？ ／

Robochestration



RPAだけでは対応できない業務がある

どこから効率化すればよいか分からない

ツール選定に悩んでいる



CTCSのRobochestrationが課題を解決します！

CTCSの「Robochestration」は、お客様の課題に合わせて業務可視化・分析から適切にツール選定しコーディネート。

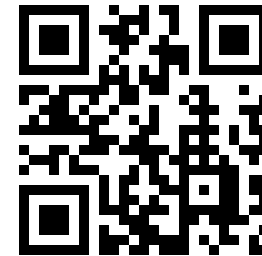
RPAプラスαのツールを組み合わせることで、業務効率化を実現します。

※Waha!Transformerはユニリタ社の登録商標です
 ※WinActorはNTTアドバンステクノロジ株式会社の登録商標です
 ※Pleasantはインプリム社の登録商標です

ご視聴ありがとうございました

お気軽にお問合せください

■電話番号 : 03-6403-2245
■E-mail : ctcs-sales@ctc-g.co.jp
■URL : <https://www.ctcs.co.jp/>



CTCシステムマネジメント株式会社